



事業者の安全性向上に向けた 原子力安全推進協会の取組について

2013年1月15日
(社)原子力安全推進協会



I. 原子力安全推進協会設立の主旨



◆ 原子力発電所の安全性向上のためには

- 事業者自らが、常に問いかける姿勢を持って、自主的かつ継続的に安全性向上に取り組み、世界最高水準を不断に追求することが必要
- 安全性向上活動が、事業者の独りよがりにならず、絶えずこれを別の立場で評価する仕組みが必要

◆ 原子力安全推進協会を設立

- 技術評価において、事業者の意向に左右されない独立性を確保
 - ◆ 事業者に対して客観的に評価、提言／勧告
 - ◆ 事業者の安全性向上活動を支援

我が国全体の原子力安全レベルを引き上げ





日本の原子力産業界における、世界最高水準の安全性の追求
～たゆまぬ最高水準 (Excellence) の追求～



Ⅲ. 原子力安全推進協会の取り組み



設備・設計面
も対象

◆ 事業者安全性向上対策の評価と提言/勧告及び支援

国内外の最新の知見を分析し、事業者の安全性向上対策について、各事業者が最高水準の安全性を追求するための提言を行う。

◆ 原子力施設の評価と提言・勧告および支援

ピアレビューや特別なテーマについてのレビューにより、原子力施設の運営状況、安全文化の強み、改善の取り組み状況を、最優良事例との比較により評価する。また、勧告と支援を行う。

連絡代表者が発電所を定期的に訪問し、発電所幹部とコミュニケーションをとり、他発電所での良好事例の紹介などを通じて、発電所に対する支援を行う。

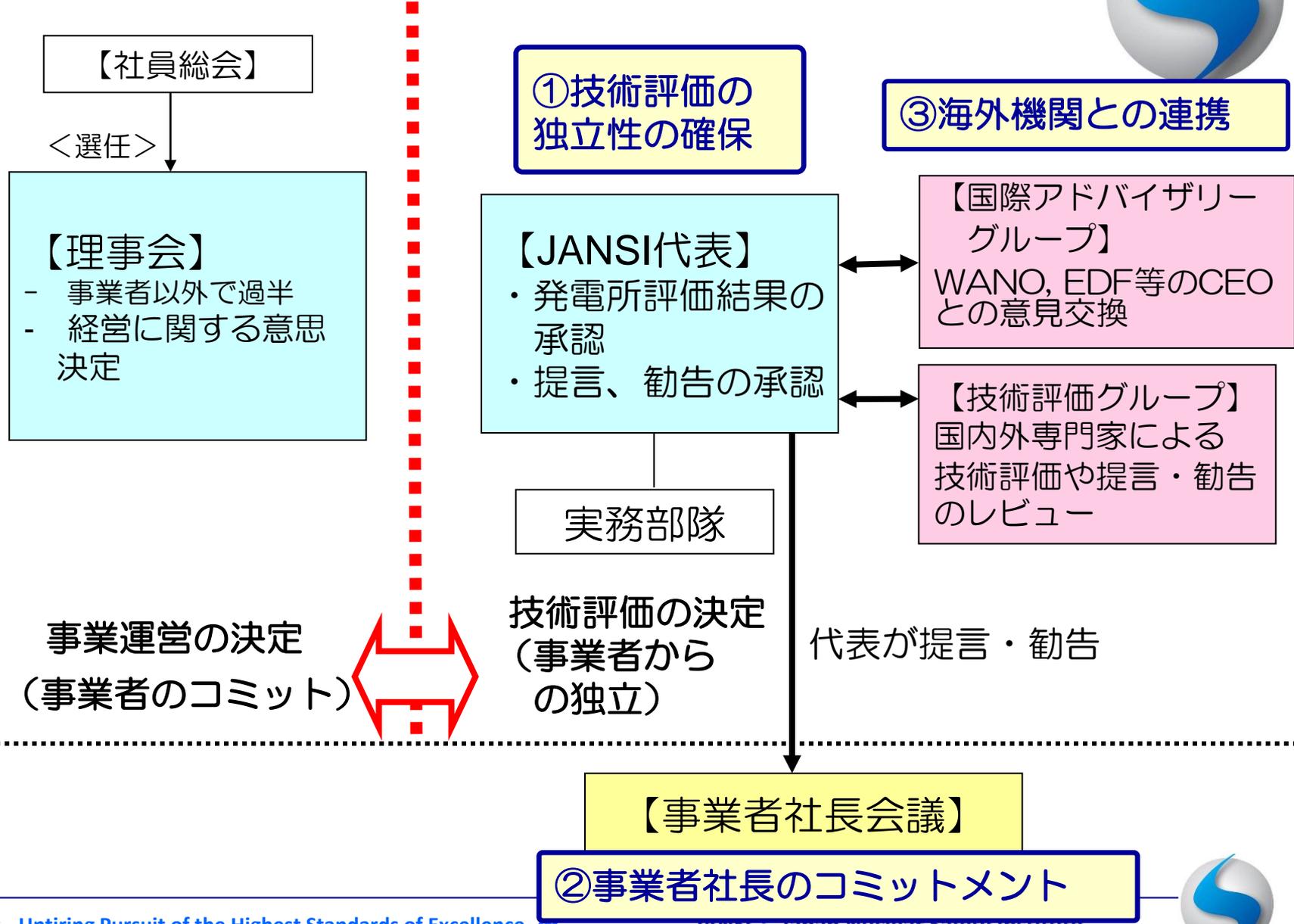




IV. 原子力安全推進協会の実効性を高める仕組み

原子力安全推進協会

事業者





IV. 原子力安全推進協会の実効性を高める仕組み

① 技術評価の独立性の確保

- 技術評価や提言・勧告の承認は、JANSI代表の専決事項とし、事業者の意向に左右されない技術評価を実施

② 事業者社長のコミットメント

事業者社長会議の設置（4回／年目処）

提言・勧告を
確実に改善に活用

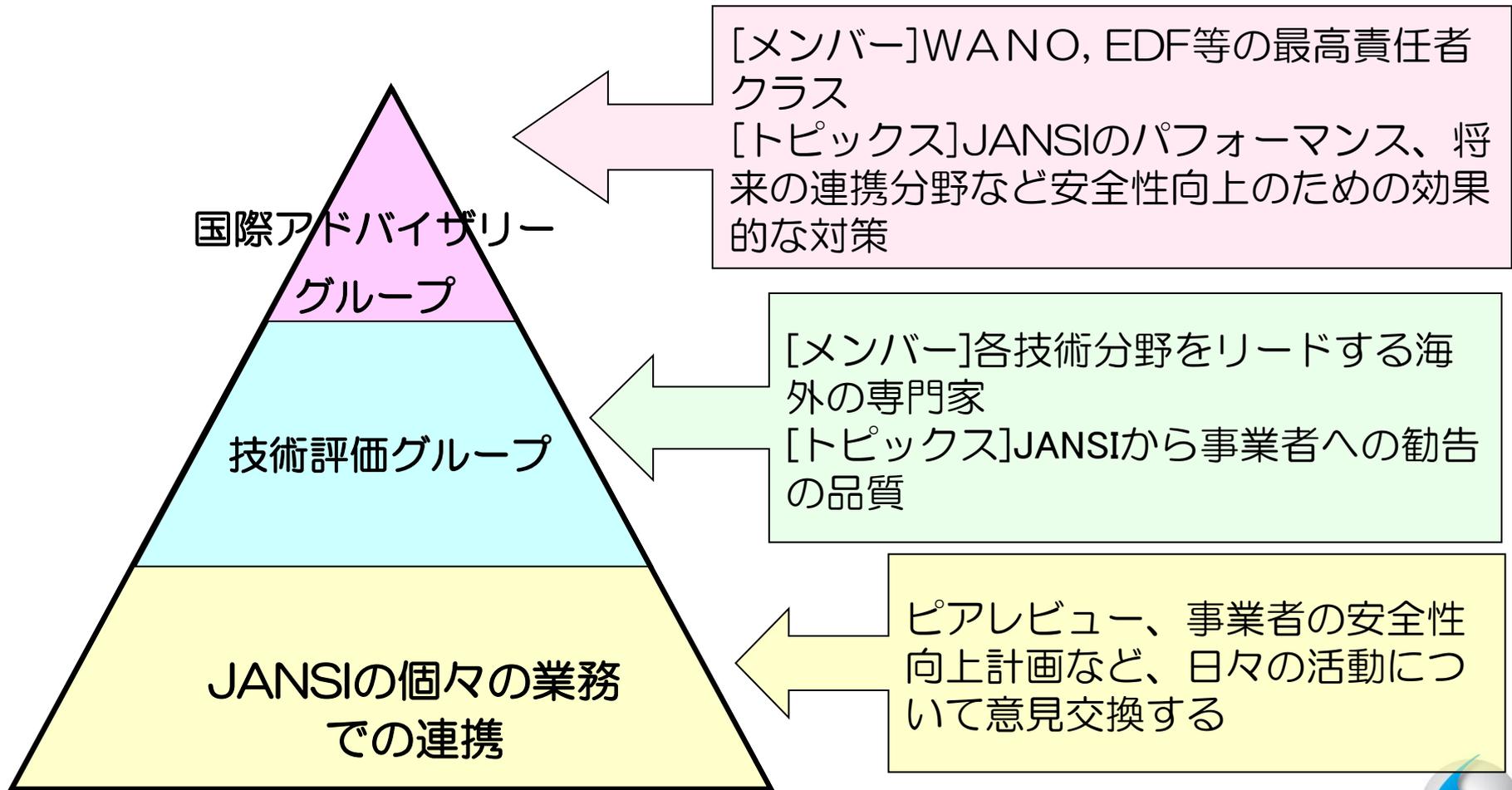
- 事業者の全社長が出席する「事業者社長会議」において、JANSI代表から直接、社長へ提言・勧告を行い、改善策実現の約束を受ける（社長のコミットメント、ピアプレッシャー）
- 提示された課題は、個社のものとせず業界全体で共有し、全体としてのレベルアップを促す
- 安全文化の浸透を促す





IV. 原子力安全推進協会の実効性を高める仕組み

③ 海外機関との連携



(参考1) 原子力安全推進協会の概要



【組織名】 原子力安全推進協会

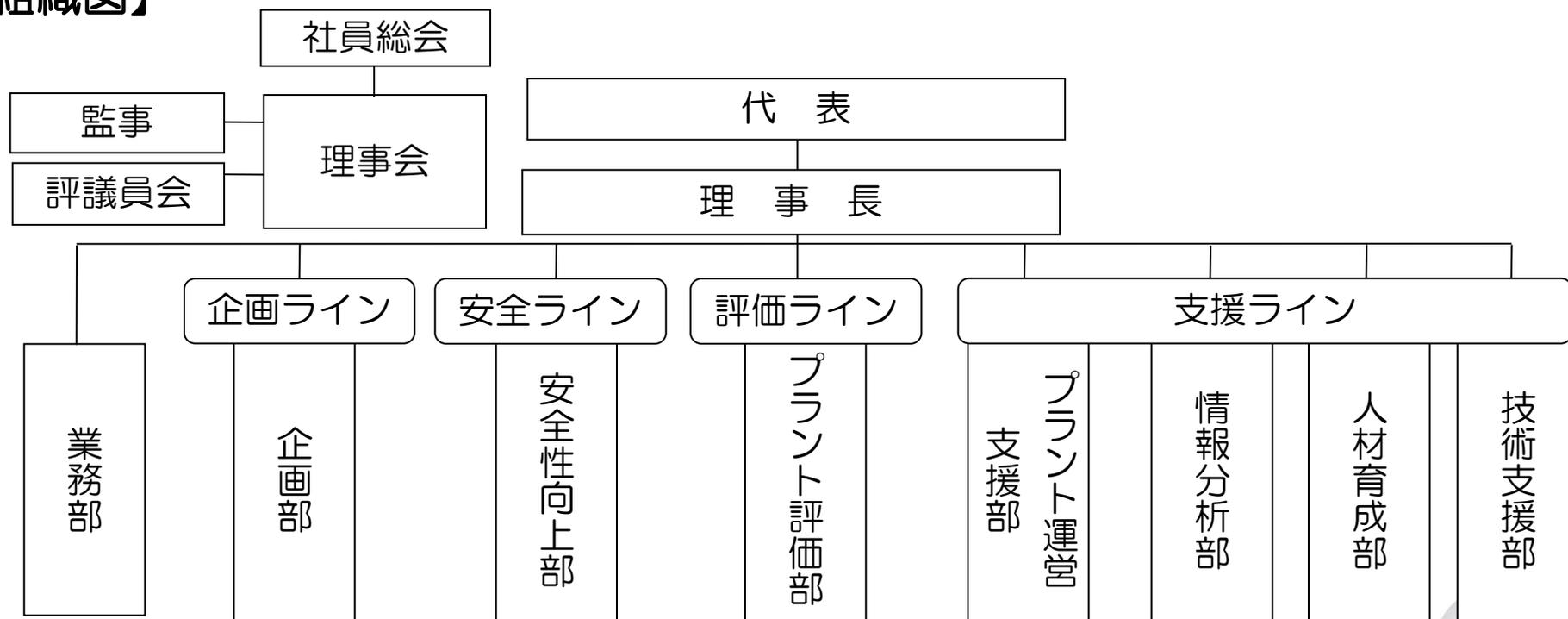
Japan Nuclear Safety Institute (JANSI)

【所在地】 東京都港区芝5丁目36番7号 三田ベルジュビル13～15階

【設立年月日】 2012年11月15日

【職員数】 約140人 (平成25年7月時点予定)

【組織図】



「一般社団法人 原子力安全推進協会」の設立について

1. はじめに

昨年3月に発生した福島第一原子力発電所事故を踏まえ、シビアアクシデント対策を含む原子力発電所の安全性を一層向上させることを目的に、この度一般社団法人日本原子力技術協会は解消し、これまで培ってまいりました知見・ノウハウを有効に活用し、より高度な安全性を目指して事業者をけん引していく一般社団法人 原子力安全推進協会を新たに設立いたしました。

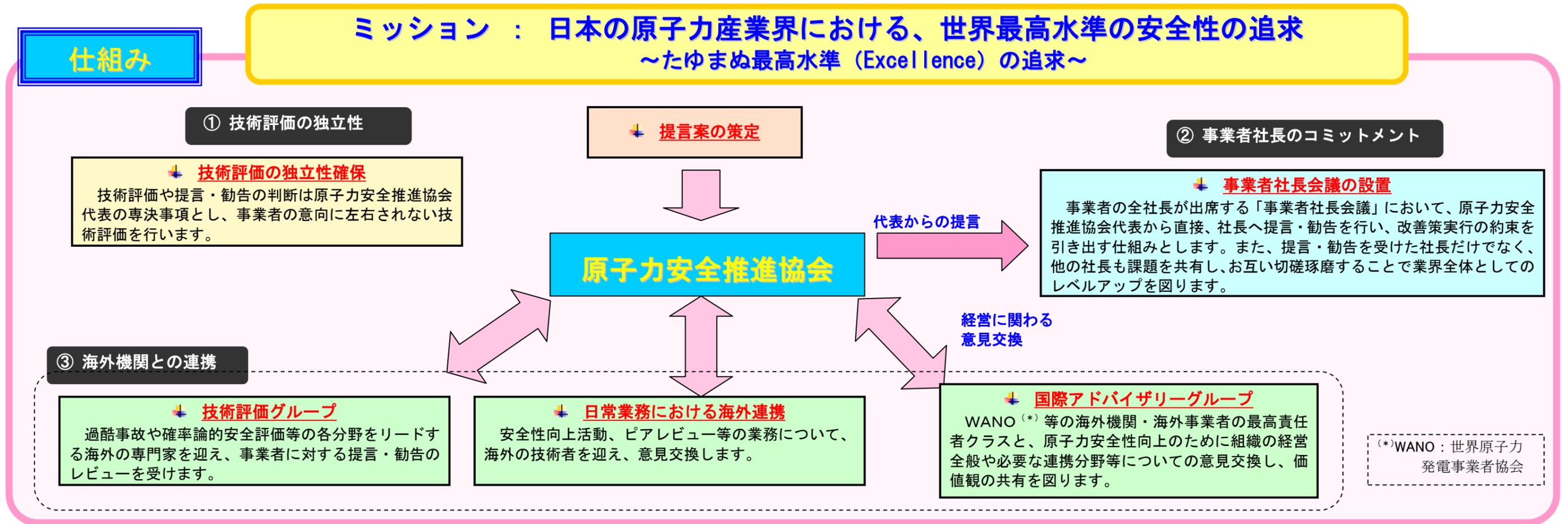
2. 原子力安全推進協会のミッションと活動のポイント

原子力発電所の安全性向上のためには、事業者自らが、自主的かつ継続的に安全性向上に取り組み、世界最高水準の安全性を不断に追求することが必要です。また、この安全性向上活動が、事業者の独りよがりにならず、絶えずこれを別の立場で評価する仕組みがなくてはなりません。

原子力安全推進協会は、技術評価において事業者の意向に影響されない独立性の仕組み・体制を構築し、事業者に対して客観的に評価、提言・勧告を行うとともに、それに基づき事業者の原子力安全性向上活動の支援を行うことで、我が国全体の原子力安全レベルを引き上げていきます。

ミッション：日本の原子力産業界における、世界最高水準の安全性の追求
 ～たゆまぬ最高水準 (Excellence) の追求～

仕組み



取り組み

安全性向上対策の評価と提言・勧告および支援

国内外の最新情報を収集・分析し、各事業者がエクセレンスを目指して取り組むよう、原子力安全レベルを引き上げていくための提言を行います。
 喫緊の課題としては、シビアアクシデント（設計基準を超え重大な炉心損傷を起こす事故）対応を最優先で進めることとしますが、今後は設計基準を超えない事象にも取組の範囲を拡大していく予定です。

原子力施設の評価と提言・勧告および支援

原子力施設の運営状況を定期的に行うピアレビューやテーマ別レビューにより確認し、最優良事例を踏まえて発電所等の運営状況や設備の状態、安全文化の健全性や改善への取り組みを評価し、それぞれのレベルを引き上げるための提言、支援を行います。
 また、発電所に対し連絡代表者を定期的に派遣し、発電所幹部とのコミュニケーション、他発電所での良好事例の紹介などを通じて発電所に対する支援を行いレベルアップを図ります。

その他関連業務の推進

左記を支えるための諸活動（トラブル情報分析、規格基準作成、人材育成等）を行います。